

コロナ明けの広島県支部総会

昨年、コロナ感染症が2類から5類に変更になり、初めての第55回広島県支部総会及び懇親会を、令和6年2月18日(日)に麻布大学 獣医学部獣医学科微生物学研修室の田原口教授を迎え、ホテル広島サンプラザで開催しました。

旅行、マスク、行動等の規制が緩和されたので、参加者もコロナ前の参加者程度に戻って思っていたのですが、丁度コロナの第10波が来るとの報道もあったためか、昨年同様の20名の参加にとどまり少し寂しい総会となりました。

しかしながら、今年は女性の参加者も3人加わり、有難く華やかな会となったと思います。参加者のことを少し触れますと、過去は、年配の先輩方がたくさん来られ、その先輩に誘われて後輩が参加するという構図がありましたが、私が年を取ったせいもあるのかもしれませんが、年配の方が年々減り、若い人を先輩が誘うことがはばかれる時代となったのか、だんだんと参加人数も減少の一途をたどっております。当大学だけでなく、いろいろな方面で縦の絆が薄れているのではないかと感じております。

ともあれ、総会は事業報告、収支決算、次年度予算案等を審議のうえ承認をいただき、田原口先生から『大学の近況』、『国内で検出された新規ウイルスについて』の講演で、大学の状況や微生物学の現状等を教えていただきました。

懇親会では、昨年は不参加であった女性会員、大学出たての若い会員等と今後の広島県支部のことなどの意見を交わしながら、和気あいあいと楽しく懇親を深めました。

今後も、女性会員、年配の会員、若い会員、獣医師以外の会員の参加が増えるように期待したいと思います。

《文責 田中啓一》

